

フローリング材の日常のお手入れ

無垢材は自然素材です。特性をご理解いただき、末永くご愛用ください。

①木の特性について

天然素材である『無垢材』は調湿機能を持っています。

梅雨時期など湿度の高い日は空気中の水分を木材内に吸収し膨張します。反対に冬など湿度の低い日は木材内から水分を吐き出し収縮します。気候あるいは気象の変化により伸び縮みを繰り返し、それに伴って反り、ねじれ、割れなどの現象が起ったり、施工されたフローリングの目地に若干の隙間が出る場合があります。無垢材を湿度の影響から完全に防ぐことは大変困難ですが、弊社ではこれらの現象を極力抑える為に人工乾燥を入念におこなった木材を使用しています。このような無垢材の特性を十分ご理解いただくとともに、天然素材でしか味わえない質感をお楽しみください。

②ご使用の注意点

- ・湿度：室内環境を人間および無垢材にとって快適とされる湿度50~60%程度に保持される事をお勧めします。
- ・換気：長期にわたり換気のない状態が続くと室内に湿気が溜まり反りやカビ等の発生原因となりますので、適度に換気をするようにしてください。
- ・乾燥：エアコン等冷暖房機器や空調設備からの排気が床面に継続的に直接当たる場合は、乾燥により材の収縮、割れ等の原因となりますので当たらないようご注意ください。
- ・水などをこぼした場合：速やかに拭き取ってください。そのままにしておくとシミ、反り、突き上げなどの原因となります。
- ・水気の多い場所：出入り口、キッチン、洗面所、トイレなどでは水切りマット等をご使用ください。またキッチン廻りにおいて油分などが付着した場合は速やかに拭き取ってください。
- ・ペットを飼われている場合：おしっこなどの付着は材の変色の原因となりますので速やかに拭き取ってください。

③掃除の仕方

- ・掃除機などで砂やほこりを取り除いた後、カラ拭きを行ってください。水拭きは避けてください。カラ拭きで落ちない汚れは固くしぼった雑巾で拭き取り、その後カラ拭きしてください。

塗装商品のメンテナンス

無垢材へのオイル塗装は、1回塗り自然オイル「ルビオモノコート」をお勧めしております。

・ルビオモノコートオイル塗装

オイル塗装を施すことにより、ある程度木を汚れや傷から保護すると同時に美しさを引き出します。表面に塗膜を作らないので天然素材である無垢材の質感や温かみを感じられ、優しい肌触りです。

しかし、ウレタン塗装に比べ染みや傷が付きやすく、汚れが目立ちやすいため土足でのご使用の際はご注意ください。また、定期的に塗り直しなどのお手入れが必要です。

①掃除の仕方とメンテナンス

- ・掃除機などで砂やほこりを取り除いた後、カラ拭きを行ってください。

■部分的な汚れ落とし 「サーフェイスケア (表面洗剤)」をご使用ください。(使用方法は下の写真をご参照ください。)

サーフェイスケア (表面洗剤) の使用方法



1. 汚れ部分にスプレーします。

2. 乾いたキレイな雑巾で拭き取ります。

■定期的なお手入れ 「サーフェイスケア (表面洗剤)」 「リフレッシュエコ」をご使用ください。(使用方法は下記の写真をご参照ください。)

リフレッシュエコの使用方法



1. 汚れ部分にサーフェイスケアをスプレーします。

2. 乾いたキレイな雑巾で拭き取ります。その後乾燥させます。

3. 表面にリフレッシュエコを少量スプレーします。

4. 乾いた布で木目方向 (木材の繊維方向) に塗り広げます。その後1時間以上乾燥させます。

再塗装

木材の保護、汚れ防止のため定期的な再塗装をお勧めします。磨耗の兆候や撥水効果の低下が認められた場合を目安として再塗装してください。再塗装の方法として、表面の汚れやホコリを取り除き、仕上げに使用されていたルビオ塗料と同一の商品を布(ウエス)等で再塗装してください。2～3分程度おいてから表面に残った余分な塗料を拭き取り、24～36時間ほど自然乾燥させます。

②傷がついたとき

スクラッチ傷などにより基材の木地が露出している箇所には、仕上げに使用されていたルビオ塗料と同一の商品を布(ウエス)等で塗装してください。2～3分程度おいてから表面に残った余分な塗料を拭き取り、24～36時間ほど自然乾燥させます。

③ご使用上の注意点

- ・白濁の原因となるため、表面に水分が付いた場合は速やかに拭きとってください。
- ・他の塗料メーカーのオイルをご使用される場合は、ご使用の塗料メーカーの指示に従ってください。

・ウレタン塗装

主成分がウレタン樹脂系の塗料で木材の表面に塗膜を形成します。

光沢があるために高級感があり、表面がコーティングされているため傷や汚れが付きにくく、お手入れや掃除などが簡単にできます。

しかし木本来の質感に劣ります。また、傷の補修が困難です。

①掃除の仕方

・掃除機などで砂やほこりを取り除いた後、モップがけまたはカラ拭きを行ってください。カラ拭きで落ちない汚れは固くしぼった雑巾で拭き取り、その後再度カラ拭きしてください。

②ご使用上の注意

- ・塗装が剥がれたり傷がついた場合の補修は困難なため専門業者にご相談ください。
- ・美装ワックスのご使用は白濁の原因になりますので、必ず各ワックスメーカー様にご相談ください。

NISSIN EX.

株式会社 ニッシンイクス

www.nissin-ex.co.jp

本 社	山口県周南市鼓海 2-118-63	〒745-0814	TEL 0834-36-1700	FAX 0834-36-1711
東 京 支 店	東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル 5F	〒107-0052	TEL 03-5573-9177	FAX 03-5573-9179
南青山ショールーム	東京都港区南青山 3-4-6 AOYAMA346 201 号	〒107-0062	TEL 03-3475-3400	FAX 03-3475-3402
仙 台 事 務 所	宮城県仙台市青葉区中央 4-7-17 ペルザ仙台 401	〒980-0021	TEL 022-796-6011	FAX 022-796-6012
名古屋事務所	愛知県名古屋市中区錦 1-18-24 いちご伏見ビル 5F	〒460-0003	TEL 052-265-5201	FAX 052-265-5202
大 阪 事 務 所	大阪府大阪市中央区南船場 3-8-7 三栄ムアビル 503	〒542-0081	TEL 06-4708-4711	FAX 06-4708-4722
福 岡 事 務 所	福岡県福岡市博多区博多駅東 1-16-8 IT ビル 4F	〒812-0013	TEL 092-409-2410	FAX 092-474-7002